



クイックパック電極

再使用禁止

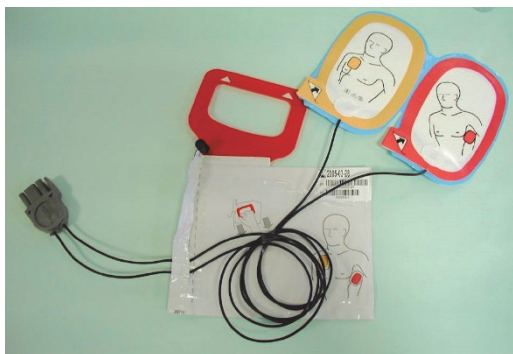
【禁忌・禁止】

(使用方法)

- 1) 再使用禁止[ディスプレイ製品のため]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状



装着部: 69×106mm

【使用目的又は効果】

1. 使用目的

本品は、正常な心拍の回復のため除細動器に接続し、制御された電気ショックを患者（通常、心臓が細動状態の場合）の胸壁上から心臓へ伝達するディスプレイ体表用除細動電極である。

【使用方法等】

1. 使用方法

1) ライフパック CR Plus との接続

- (1) あらかじめ、除細動器本体のコネクタに、電極ケーブルコネクタを差込んで装着しておく。使用直前までポーチを開封しないこと。(図 1)

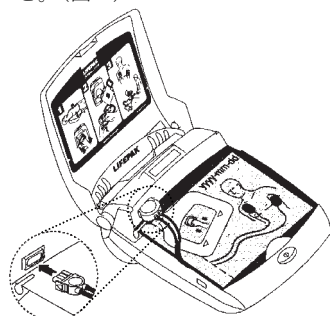


図 1

2) その他のフィジオコントロール社製除細動器との接続

- (1) 除細動ケーブルコネクタ上の保護カバーを開ける。(図 2)
- (2) 電極ケーブルコネクタと除細動ケーブルコネクタ双方のコネクタの矢印を合わせ相互に強く押し付けて差込む。(図 3)

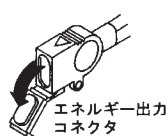


図 2

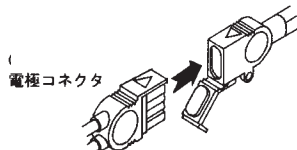


図 3

3) 患者の前処置

- (1) 患者の胸部から衣服を取り除き、胸部を露出させる。
- (2) 余分な胸の体毛をできるだけ除く。かみそりを用いる場合は、皮膚を傷つけないように気をつけること。傷ついた皮膚の上には電極を取り付けないこと。
- (3) 皮膚を清拭し、乾かす。患者の胸に軟膏が塗布してある場合には、洗剤と水を使って皮膚を洗浄し、タオル又はガーゼで皮膚をすばやく拭いて乾かすこと。この際、アルコールやベンジンは使用しないこと。

4) 電極の取り付け

- (1) ポーチの左側を片手で押さえ、もう一方の手で赤色のリリースハンドルを引きポーチを点線に沿って開封する。
- (2) ポーチを開封した後、電極のリリースライナーをケーブルの接続端側からゆっくりと剥がす。(図 4)
- (3) 電極を患者腋窩線上の左乳首の側面と、胸骨右上、胸骨の側面、鎖骨下に取り付ける。(図 5)



図 4

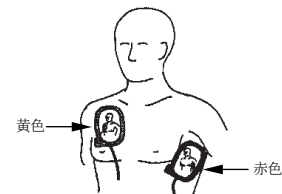


図 5

- (4) ゲル表面と患者皮膚との間の気泡を取り除くために、患者の胸に電極の一方の端からしっかりと押し付ける。粘着面の端も全て皮膚にしっかりと押し付けること。
- 5) 電極の取り外し
- (1) 皮膚を手で支えながら電極の端の方から剥がす。(図 6)



図 6

- 6) 本品は、患者に電極パッドを取り付けたまま、除細動器からコネクタを外して、別のフィジオコントロール社製除細動器に接続することができる。

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) 通電を行うとき、電極は正しい通電位置に密着させること。
- 2) 電極面どうしを短絡して通電しないこと。また電極を空中に向けて放電させないこと。
- 3) 除細動中、操作者以外は患者から離れていること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 再使用禁止[ディスプレイ製品のため]
- 2) 本品は専用の除細動器に接続して使用し、使用前には除細動器本体の取扱説明書を読むこと。
- 3) 電極を折り曲げないこと。
- 4) 電極の形を加工しないこと。
- 5) 電極を圧迫したり、重いものの下に置かないこと。
- 6) オートクレープやガス滅菌をしないこと。
- 7) 液体に浸けたり、アルコールや溶剤で洗浄しないこと。

2. 不具合・有害事象

- 1) 重大な不具合: 通電不良、ECG 波形解析不良
- 2) 重大な有害事象: 電撃、熱傷

接続する除細動器の取扱説明書を必ずご参照ください。

- ** 3. 妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用
- ** 1) 未就学児に対する小学生～大人用パッドの使用については、有効性・安全性が確認されていないことから、未就学児用パッドを備えた自動体外式除細動器が近くにないなど、やむを得ない場合に限り使用すること。
- ** 2) 小学生～大人用パッドを未就学児に使用する場合には、特に、2枚のパッドが触れ合うことがないように、注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

- * 1. 保管条件
15℃～25℃（推奨）
- 2. 有効期間
36 ヶ月（包装に有効期間が記載されている）

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

日本ストライカー株式会社
連絡先電話：03-6894-0000(代表)